高校生インタビュー

図書館をよく利用する３年の酒井茉那さん、刀川来愛さん、服部光姫さんにインタビューをしました。３人とも３年間連続で図書館クイズ全問正解者です。また、刀川さんと服部さんは３年間多読賞をとるほどの読書家です。

Q 瀬木学園図書館の印象は？

酒井さん「思っていたより広く、本の種類がたくさんあって驚きました!」
刀川さん「私学だけあって本が多いなと思いました。」
服部さん「雑誌や視聴覚が充実しているのが印象的でした。」

Q 図書館の思い出は？

酒井さん「友人に誘われて参加した図書館クイズが一番の思い出です。気づいたら３年間図書館クイズに参加して、３人の中で一番熱心に取り組んでいました。司書の方が話しやすくて、図書館クイズの時にヒントをたくさんもらいました。」
刀川さん「私も図書館クイズが楽しかったです。いろんなジャンルの本に触れるきっかけになったのもよかったです。司書の方が話しやすかったです。」
服部さん「やはり図書館クイズです。いろんな本が見ることができて、とても楽しかったです。友人と好きな本を共有できたのも思い出です。」

Q 図書館を利用して良かったことは？

酒井さん「文章力が身につきました。」
刀川さん「本をたくさん読んで語彙力が高まった気がします。」
服部さん「本のリクエストをしたら、続きも入れてもらえたのでたくさんの本を読むことができました。」

☆★☆図書館に一言メッセージをお願いします!! ☆★☆

酒井さん「本がたくさんあって楽しませてもらいました。」
刀川さん「いつもありがとうございます!!」
服部さん「私もいつもありがとうと思っています。」

今回インタビューした３人がおすすめ本を紹介してくれました。図書館にある本ばかりです。気になる本があったら、手に取って下さい。

酒井さん：本多孝好著『MISSING』、桃戸ハル編著『5秒後に意外な結末』、『5分後に意外な結末シリーズ』、汐見夏衛著『夜が明けたら、いちばんに君に会いにいく』
刀川さん：弥生小夜子著『風よ僕らの前髪を』、西尾維新著『美少年探偵団』、東野圭吾著『秘密』、住野よる著『か「」く「」し「」ご「と』『また同じ夢を見ていた』
服部さん：有川浩著『塩の街』、小野不由美著『十二国記』、貴志祐介著『新世界より』、森見登美彦著『有頂天家族』、遠藤彩見著『給食のおにいさん』

司書講習を受講して

吉沢 未来湖（瀬木学園図書館司書）

令和元年度と令和３年度に愛知学院大学で行われた司書講習を受講しました。愛知学院大学の司書講習は約２か月間の短期集中型です。受講生は大学生から定年を迎えられた方、講師は大学の教授から図書館の館長を務めている方など様々でした。また、愛知学院大学の図書館は本を修理する専門の方がいます。愛知学院大学で司書講習を受講する方がいましたら、お昼休みに見に行ってください。本の修理に関することを丁寧に教えてくれます。

私が司書講習を受講して感じたことを二つ書きます。

一つ目は、図書館は図書館資料（図書、雑誌、視聴覚など）の貸出しを行うことだけが仕事ではないということです。もちろん、資料の貸出しは図書館の大事な仕事の一つです。それに加えて、昨今の図書館ではレファレンスサービスというものが重要視されてきているそうです。レファレンスサービスは利用者が求めている情報や資料を提示・提供するものです。レファレンスサービスの演習は、講義の中で一番苦戦し、私自身の知識のなさを痛感しました。

二つ目は、図書館の仕事は人と接する仕事であるということです。このことは、多くの司書講習の講師方も大事なことであると言っていました。私自身、瀬木学園図書館で働くまで司書の仕事は人との関りが低いイメージがありました。しかし、実際に仕事しているとそのような考えはなくなりました。特に、レファレンスサービスでは、利用者が求めているものを正確に汲み取るには、利用者との円滑なコミュニケーションが必要なことを知りました。

ここで書いたもの以外にも、司書講習では司書の業務、図書館や本の歴史、図書館で取り扱っている資料やその分類など、図書館に関することを幅広く学びます。全ての講義が一様に好奇心をくすぐられるものばかりでした。私は今回短期集中型の司書講習を受講しましたが、通信大学で受けることもできます。興味のある方はぜひチャレンジしてみてください。図書館がさらに楽しい場所になります。

貴重本紹介

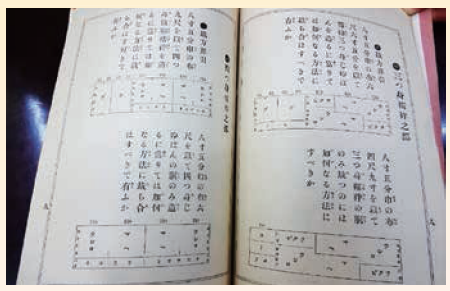
『和洋裁縫大全　再版』全 29 冊
（小出新次郎著／女子裁縫高等學院出版部）

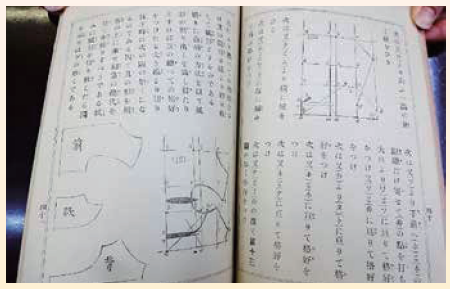
明治40年（1907年）に発刊された和裁・洋裁の技術をまとめた大全です。

普段着や襦袢（じゅばん）などの縫い方はもちろん、布団や蚊帳（かや）、袋ものなど日常で使用する道具や、袈裟（けさ）、十二単（じゅうにひとえ）、直垂（ひたたれ）などの作り方も掲載されています。

当時裁縫は婦女子の必須技術であり、学校でも女子のみ「裁縫」の科目が設置されていました。最終巻には裁縫の教授法が記されており、必要な授業数や学年にあったカリキュラム設定が紹介されています。

『和洋裁縫大全　再版』全17巻、上・中・下を含む全29冊
この貴重本はご退職された短大の先生からご寄贈いただきました。


1巻『和服之巻』より
襦袢の作り方を説明しているページです。和服はまっすぐに裁った布を使用するため、布を効率よく裁つ図が記されています。


14 の中巻『洋服之巻』より
洋服の型紙の作り方を解説しているページです。右上の図では、イロハ順に黒点を打ち、型紙のガイドとなる線の引き方を説明しています。

図書館フェア2021

７月５日～９日に図書館フェアを開催しました。新型コロナウィルス感染症対策を徹底し、七夕飾り、新着本展示、今年が節目となる人物や制度を取り上げたテーマ展示を行いました。

〈テーマ展示①〉ウォルト・ディズニー生誕120年

現在でも世界中から愛されるアニメーションやキャラクターを生み出したアニメーター、ウォルト・ディズニーを特集しました。ディズニーの生い立ちやミッキーマウスの誕生秘話、歴代の作品などを紹介しました。生徒や学生も、自分の知っている作品や好きなキャラクターについて話しながら展示を楽しんでいました。

〈テーマ展示②〉郵便制度150年記念

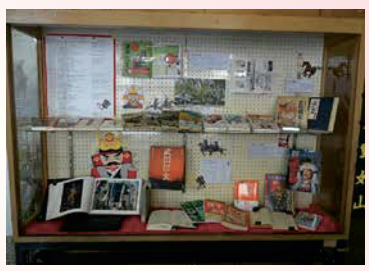
郵便制度が制定されて今年で 150 年です。日本郵政の父である前島密（まえじまひそか）や郵便のしくみ、切手や手紙の書き方など郵便に関する図書を展示しました。

SNS や電子メールのおかげで遠方の人ともやり取りが簡単になった昨今ですが、改めて手紙の良さを感じてもらうことができました。

〈テーマ展示③〉武田信玄生誕500年

甲斐国（現山梨県）の武将、武田信玄の生誕から 500 年を記念した展示を行いました。

上杉謙信との度重なる交戦や旗印に掲げた孫子の「兵法」など関連する図書を取り上げて、小説や大河ドラマでも扱われることが多い武田信玄の魅力を紹介しました。



発　行：名古屋市瑞穂区春敲町2-13　瀬木学園図書館　2021年12月　NO.40　印刷：富士フイルムサービスリンク㈱